

集落自主活動に係る伴走支援事業

田村市船引町瀬川地区  
2021年度 活動報告

獨協大学セガワ応援隊

遠藤夏乃・田波萌々香・志賀陽・曾根遥香  
飯村輝・石川育実・岡部将太・小池真愛

# 活動報告: ミーティング

日付	内容	参加者
2021/8/10 オンライン	今年度キックオフ・ミーティング 初顔合わせ・自己紹介	学生：5名 教員：1名 集落：5名
2021/8/15 オンライン	役職決め 申請書作成	学生：5名
2021/10/28 対面	感染状況に応じて現地入りに向けた話し合い 来年度の事業を学生メンバーで計画を練る。	学生：5名
2021/11/9 オンライン	地域の皆さんに現地の様子や学生に期待するサポートについて調査する。 学生が考えた事業案についての地域の皆さんの意見を聞く。	学生：2名 集落：5名
2021/12/2 対面	12月6～10日獨協大学環境週間“Earth Week Dokkyo 2021～Winter～”開催の地域振興支援物産展の準備 「あなたの描く理想の里山」作品案について	学生：5名
2021/12/20 オンライン	「あなたの描く理想の里山」作成	学生：3名
2022/1/11 オンライン	「あなたの描く理想の里山」の講評 報告書作成について	学生：4名 教員：1名
2022/1/20 オンライン	報告書作成の説明 瀬川地区の皆様とのミーティング日程調整	学生：6名 教員：1名
2022/1/26 オンライン	来年度のサポート事業計画案について瀬川地区の皆様とともに計画	学生：4名 教員：1名 集落：5名

# 活動報告:獨協大学環境週間“Earth Week Dokkyo 2021～Winter～”地域振興応援物産展

## ■ 目的

- ・学内外の田村市船引町瀬川地区に対する認知度を向上
- ・獨協セガワ応援隊の認知度の向上
- 瀬川地区の特産物を通し瀬川地区や、本事業に対する興味を持ってもらう。

## ■ 物産展で販売した特産品

エゴマ油、そば粉、はちみつ、キウイフルーツ、アピオス、ハヤトウリ、サトイモ、米

## ■ 評価

- ・獨協大学周辺の地域住民の瀬川地区に対する認知度向上に貢献することができた。
- ・特産物販売で売上を出すことで、瀬川地区に収益として還元することができた。



そば粉



アピオス



キウイフルーツ



お米

# 田村市船引町瀬川地区の課題と地域資源

## ■ 瀬川地区の抱える問題

- ・子育てしにくく、日常生活が不便
- ・収入源の確保が難しい
- ・外部の人が瀬川地区を訪れる理由がない。
- ・耕作放棄地、空き家が増えている。

## ■ 取り組むべき課題

- ・地域住民の交流する場を増やし、日常生活に対するサポート
- ・収入を発生させる仕組みをつくる。
- ・外部から注目してもらい、立ち寄ってもらい、交流人口を増す。

## ■ 瀬川地区の貴重な地域資源:伝統芸能

- ・石沢、新館、大倉、門鹿の地区ごとに、秋の例大祭に神社に奉納される伝統芸能
- ・地元では保存会の皆さんが、神楽を舞う小学生を指導しているが、小学生も少なくなっていて、維持が課題に



# 秋の例大祭に奉納される伝統芸能



「石沢の三匹獅子舞」(鹿島・熊野神社)



「新館の太々神楽」(新館神社)



「大倉の太々神楽」(大倉神社の神楽殿)



「門鹿の太々神楽」(古室神社・王子神社の神楽殿)

# 2022年度 サポート事業の企画提案

自然豊かで、素晴らしい伝統文化を持つ瀬川地区  
地域コミュニティの活性化をはかり、「瀬川プライド」を醸成  
**「住んでよし、訪れてよし」に！**

「住み続けたい」、「退職後は戻りたい」、「移り住みたい」

## ■ セガワ応援隊の今後の課題

- ・伝統芸能の三匹獅子舞や太々神楽をどうやって維持していくか
- ・外から見た瀬川の良さを学生ならではの視点でアピール→SNSを積極的に活用
- ・瀬川地区内部の交流を盛んに→引き続き、軽トラマルシェのサポート&改善
- ・空き家や耕作放棄地の活用を考案

## ■ 伝統芸能を活用した集落活性化企画

- ・伝統芸能の記録&データ化
- ・SNSや物産展を活用し、地域の特産品や伝統芸能を情報発信
- ・瀬川地区観光パンフレット制作
- ・秋の例大祭に奉納される伝統芸能鑑賞ツアーの事業化
- ・オリジナルキャラクターを制作して伝統芸能に親しみやすさを
- ・空き家の有効活用と伝統芸能を結び付けた事業
- ・軽トラマルシェのサポートと大学で開催する物産展の継続